

| | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|---------|--|-------------|---------|----------|---------|--------|---------|
| 1. 科目名 (単位数) | 経営管理論 (2単位) | 3. 科目番号 | SBMP3112 | | | | | | |
| 2. 授業担当教員 | 武本隆行 | | | | | | | | |
| 4. 授業形態 | 講義、集団討議、学生との応答など | 5. 開講学期 | 秋期 | | | | | | |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 「経営組織論」や「マーケティング論」も履修することが望ましい | | | | | | | | |
| 7. 講義概要 | <p>本講義では組織の管理についての解説を行い、経営管理の理論的部分に関して初歩的な理解を促すことが目的である。そのために、まずは、代表的な経営学説を学ぶことから始める。</p> <p>講義の流れとしては、経営管理の全体を把握するため、経営学の誕生、近代組織における経営管理の登場とその発展について学習する。変革する経営管理について、組織の活性化、モチベーション及び経営のリーダーシップについて学習を進める。</p> <p>また、経営の創始者としてのテイラーや管理原則を展開したファヨールの議論などを紹介する。最終的には人事労務管理論や財務管理論へと議論を展開して、経営管理の全体像を把握できるようにする。</p> | | | | | | | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業はもちろん病院・学校・公共団体などをはじめ家庭・個人にいたるまで経営管理能力が必要とされている。組織の経営管理活動の過去・現在・未来を理解できるようにする。 2. 社会で要求される管理能力の基礎を身に付けると共に、行動案を立案できるようになる。 3. 自分自身のマネジメント、即ちセルフマネジメントを理解し、実践力をつけることを目的とする。 | | | | | | | | |
| 9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題 | 各回の授業内容に即した題目について自身の考え (考察) を著し提出してもらおう。また、授業外時間に自身での下調べを要するレポート提出も不定期に実施。 | | | | | | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | <p>【教科書】 塩次清代明・高橋伸夫・小林敏男著『有斐閣アルマ、経営管理 [新版]』有斐閣、2009。</p> <p>【参考書】 必要に応じ授業内にて適宜提示する。</p> | | | | | | | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業の経営を実践と理論の両面から平易な資料を用意して授業を進めたため、組織経営の基本的仕組みは理解できたか。 2. 組織の管理能力の基礎的な考え方を身に付けることで、グローバルな視点で経営管理を考えるような力が付いたか。 3. 企業の経営管理の理解だけでなく、病院や公共施設などの経営管理の違いを理解できるようになったか。 <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、課題レポート、期末試験等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2 課題レポート</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3 期末試験</td> <td>総合点の40%</td> </tr> </table> | | | 1 授業への積極的参加 | 総合点の30% | 2 課題レポート | 総合点の30% | 3 期末試験 | 総合点の40% |
| 1 授業への積極的参加 | 総合点の30% | | | | | | | | |
| 2 課題レポート | 総合点の30% | | | | | | | | |
| 3 期末試験 | 総合点の40% | | | | | | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中にスマホ操作、私語、居眠りの多い者は教壇最前列に座らせる等、担当教員の厳重な指導下におく。 2. 先行き不透明な現代社会においては、主体性つまり「自らの考えや判断に基づき責任を持って行動すること」が極めて重要です。企業が新社会人に求める必須要件でもあります。受け身ではなく積極的発言をはじめとした能動的な授業への参加を求めます。 | | | | | | | | |
| 13. オフィスアワー | 初回授業内にて周知する。 | | | | | | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | | | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | | | | | | | |
| 第1回 | 経営の誕生～資本主義経済の発展と経営管理の生成 | 事前学習 | 教科書序章を通読の上、p4. 及び p. 10 を熟読しておくこと。 | | | | | | |
| | | 事後学習 | 「経営管理」の課題の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。 | | | | | | |
| 第2回 | 管理の時代～専門経営者の台頭と組織能力 | 事前学習 | 教科書1章を通読の上、p. 18、21、28、31、38 を熟読しておくこと。 | | | | | | |
| | | 事後学習 | 「所有と支配の分離」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。 | | | | | | |
| 第3回 | 経営管理の発展～生産性と創造性の探求理論としての経営管理論 | 事前学習 | 教科書2章を通読の上、p. 49 を熟読しておくこと。 | | | | | | |
| | | 事後学習 | 「経営管理の諸理論」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。 | | | | | | |
| 第4回 | 組織のデザイン～環境適応へ向けての構造設計 | 事前学習 | 教科書3章を通読の上、p. 67 を熟読しておくこと。 | | | | | | |
| | | 事後学習 | 「組織のヨコ連携」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。 | | | | | | |
| 第5回 | 経営戦略～企業経営の指針(1) 戦略と組織の適合性、戦略策定の第一歩 | 事前学習 | 教科書4章の pp. 91～95 を通読の上、p. 100 を熟読しておくこと。 | | | | | | |
| | | 事後学習 | 「SWOT分析」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。 | | | | | | |
| 第6回 | 経営戦略～企業経営の指針(2) 競争戦略、グローバル展 | 事前学習 | 教科書4章の pp. 96～114 を通読しておくこと。 | | | | | | |

| | | | |
|------|--------------------------|------|--|
| | 開 | | と。 |
| | | 事後学習 | 「ポーター理論」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。 |
| 第7回 | 資源の管理～企業成長のための根幹 | 事前学習 | 教科書5章を通読の上、p.126を通読しておくこと。 |
| | | 事後学習 | 「組織風土」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。 |
| 第8回 | 組織間関係の管理～戦略的提携へ向けての基礎 | 事前学習 | 教科書6章を通読の上、p.147及びp.159を熟読しておくこと。 |
| | | 事後学習 | 「グローバル競争」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。 |
| 第9回 | モチベーションと組織活性化～組織を支える人的要因 | 事前学習 | 教科書7章を通読の上、p.176及びp.180を熟読しておくこと。 |
| | | 事後学習 | 「動機づけ理論」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。 |
| 第10回 | 経営のリーダーシップ～活力と創造性の源泉 | 事前学習 | 教科書8章を通読の上、p.191を熟読しておくこと。 |
| | | 事後学習 | 「リーダーの資質と役割行動」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。 |
| 第11回 | 企業文化の創造と変革～見えざる秩序と構造の管理論 | 事前学習 | 教科書9章を通読の上、p.212を熟読しておくこと。 |
| | | 事後学習 | 「イノベーション」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。 |
| 第12回 | 日本の経営管理～変わる評価・変わらぬ体質 | 事前学習 | 教科書10章を通読の上、p.237及びp.241を熟読しておくこと。 |
| | | 事後学習 | 「日本的経営の特殊性」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。 |
| 第13回 | グローバル戦略～日本企業の国際化の論理 | 事前学習 | 教科書11章を通読の上、p.265及びp.を熟読しておくこと。 |
| | | 事後学習 | 「グローバル経営」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。 |
| 第14回 | 育てる経営の管理へ～経営の再生をめざして | 事前学習 | 教科書12章を通読の上、p.280及びp.285を熟読しておくこと。 |
| | | 事後学習 | 「OJT」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。 |
| 第15回 | 総まとめ | 事前学習 | 全14回の学習内容をまとめ、習熟度を確認 |
| | | 事後学習 | 授業全体で学んだ内容をまとめる。 |